

要電源重度障がい児者災害時等支援ネットワーク構築事業

【事業概要】

- ・人工呼吸器など、日常的に電源を要する医療機器を使用する在宅重度障がい児者にとって電源の喪失は生命の危機に直結するため、長期停電を想定した備えが必要。
- ・このため、市町村に対し在宅重度障がい児者等の把握及び災害時支援等体制に係る調査を実施し、有事の際に有効な支援が行えるよう、医療機関、消防、電力会社、行政等の関係機関による支援体制の整備を促進する。

★R3年度実施内容（予定）

- 在宅重度障がい児者災害時等支援ネットワーク会議等の開催
- 医療的ケア児等災害時電源確保ガイドブックの製本、配布

重度障がい児者災害時等支援ネットワークのイメージ

要電源重度障がい児者

医療機関等

- ・電源確保体制の整備（医療）
- ・医療資材の供給、介護支援体制の整備（医療・福祉）など



消防本部

- ・迅速な搬送方法の整備（必要人員、注意事項等）
- ・医療機器の取り扱い方法の確認など



電力会社

- ・電力供給方法の整備
- ・電力復旧の情報提供など



行政

- ・要電源重度障がい児者の所在や使用機器、緊急時の受入先等に関するニーズの把握など

重度障がい児者 災害時等支援 ネットワーク会議

